

# 平成28年度年報



【平成28年6月 モデル事業地におけるカミネッコンによる植付（七飯町／吉野山国有林）】

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



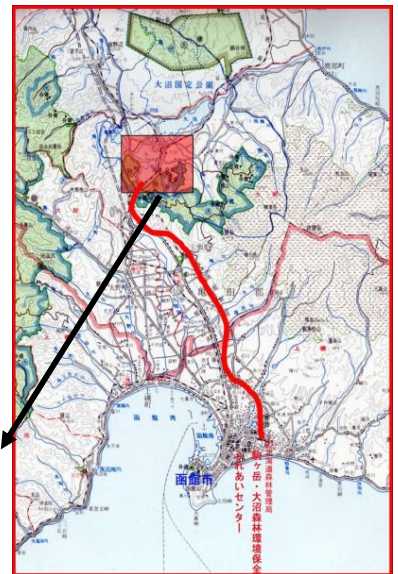
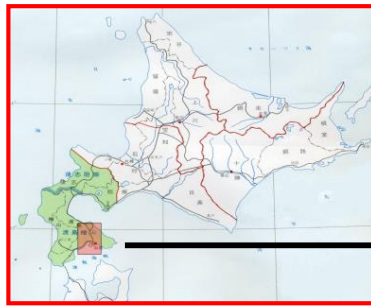
林野庁 北海道森林管理局  
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

# 大沼地域自然再生等モデル事業の取組

モデル事業地は、大沼国立公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所を選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのグランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、**「多様性のある森林への再生」**と当該地及び近接地において**「森林環境教育の推進」**を主とし、取り組むこととしています。



- ＝ 検討委員会 ＝
- 平成16年度  
グランドデザイン作成のために3回実施。
  - 平成17年度～平成26年度「グランドデザイン」に基づく事業内容の検証及び検討のため年に2回実施。
  - 平成28年12月  
役割の一部を「大沼自然豊かな森づくり協議会」に継承して終了。

## ☆「大沼自然豊かな森づくり協議会」の開催

平成28年3月14日（月）、南北海道大沼婦人会館（七飯町）において、23名の委員が参加し「大沼自然豊かな森づくり協議会総会」を開催しました。

平成27年12月に「大沼地域自然再生検討委員会」が終了したのを受け、事業の実行のほか、短期計画の作成及び事業実施結果の検証など、協議会の新たな役割についても担っていくことと、自然再生等の各種事業実行に当たり、これまで以上にお互いの協力・連携を図り取り組むことを確認し総会を終了しました。

協議会の様子（平成28年3月14日）



★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のグランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。

協議会参加団体等名
大沼漁業協同組合
大沼町内会連絡協議会
大沼の水と緑を守る会(NPO)
北海道国際交流センター(NPO)
北方森林鳥類調査室クマゲラ研究会(NPO)
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会
21世紀の道南の森づくり事業実行委員会
個人会員及び関係行政機関

# ☆ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツトウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22,90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



「多様性のある森林への再生」箇所において、様々な取り組みを行っています。平成28年度の主な実施内容は、次のとおりです。

## 「カミネッコンによる植付作業」の実施

平成28年6月18日（土）、大沼自然豊かな森づくり協議会を中心とした総勢20名により上層木がまばらな箇所へ、カミネッコンによるミズナラ、ハウチワカエデ、エゾイタヤなどの植付けを行いました。

カミネッコンは再生紙や古紙で作ったリサイクルポットです。これまで行ってきた植樹のイメージとは違い皆さん最初は戸惑っていましたが徐々に慣れてきた様子で無事に予定した作業を終えることができました。





## 「国際ワークキャンプ」の受け入れ

「国際ワークキャンプ」とは、世界中から集まった若者が一緒に生活しながら、「森林の手入れ」、「動植物の保護」、「有機農業の支援」、「学校の建設」など地域での環境ボランティア活動を行う「国際ボランティアプロジェクト」で、世界約100か国、約3,000箇所で行われています。日本では国際ボランティアNGOのNICE（ナイス）が「国際ワークキャンプ」の企画、運営、参加者の募集等の事務を行います。日本各地に協力団体があり、北海道では函館市にある「北海道国際交流センター」が受皿団体になっています。

当ふれあいセンターでは、吉野山国有林（七飯町字大沼）で実施している「大沼自然再生等モデル事業」において、自然再生等への取組の一環として、各種森林ボランティア活動の機会を提供しています。今年、ラトビア、ロシア、ドイツ、ベトナム、メキシコ、台湾、シンガポール、中国、日本など9カ国、17名の20代を中心とした若者が、参加し、7月27日から9月14日までの中で、11日間、地拵、植付、下刈、除伐Ⅱ類、下刈や歩道修理などの作業をサポートしていただきました。

また、今年度より、近隣の渡島、檜山署より若手職員等が3日間、延べ13名が参加してワークキャンプのメンバーと一緒に汗を流しました。

概要説明



作業終了後、集合写真



植付作業



ランチタイム



除伐Ⅱ類作業



## 吉野山森林植生観察会の実施

自然再生の取組みが始まってから10年が経過したことから、主に下層植生の変化（変遷）を観察するため、昨年に引き続き春季の5月21日、秋期10月15日に、「植生観察会」を実施しました。大沼自然豊かな森づくり協議会のメンバーを中心に延べ39名の参加がありました。

春季  
5月21日



秋季  
10月15日



# ☆ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の樹木博士認定常設コース（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図る活動を実施しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための樹木博士認定会の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

## 樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

## 樹木博士認定コース

子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立 現会長：木平勇吉東京農工大学名誉教授）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「常設コース」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年定期的開催しています。



樹木博士認定コース案内板

## 進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い成績に応じて段級（最高位は10段）を与え、認定書を授与します。



樹名板

認定書

## コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [ 450 m ]  
テストコース [ 390 m ]  
周 遊コース [ 2,050 m ]
- ◆ 試験 樹 種 46種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。



平成28年度の樹木博士認定会の取組については、公募により6月、7月、8月、9月の4回の定期開催を実施しました。また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第1回開催（西大沼）



第2回開催（西大沼）



第3回開催（西大沼）



第4回開催（茂辺地）



本年度の定期開催の参加者は延べ37名でしたが、参加者数が伸び悩んでいることから教育機関等への働きかけを始めとしてPR活動を行っていきます。

### ● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内 訳
第1回	6月 5日（日） 10：00～12：30（西大沼）	16人	子供 1、大人 15
第2回	7月 3日（日） 10：00～12：30（西大沼）	7人	子供 0、大人 7
第3回	8月 7日（日） 10：00～12：30（西大沼）	6人	子供 0、大人 6
第4回	9月 4日（日） 10：00～12：30（茂辺地）	8人	子供 0、大人 8

### ● その他開催

森林への誘い講座・江差北小グリーンスクール	44人	子供29、大人15
-----------------------	-----	-----------

### ● 樹木博士認定状況

28年度末 累計	2,391人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた計です）
----------	--------------------------------

# ☆ 自動撮影装置による野生動物調査

当センターでは、大沼周辺(七飯町)の森林における野生動物(中大型哺乳類等)の生息調査を実施しています。

- 調査目的・・・野生動物の生息状況を長期的に記録し、その変化と環境の変化とのかかわりを研究する。
- 調査方法・・・自動撮影装置(カメラ)による撮影  
(赤外線センサーに反応する動物を撮影)  
(平成26年度よりデジタルカメラを導入)
- 調査時期・・・年2回(夏、秋)実施

自動撮影カメラの設置



## PHOTO



タヌキ



コウモリ



カケス



エゾシカ



ヒグマ



キツネ

# ☆ 森林づくり塾2016 開校

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、**森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成**を目的としています。

森林づくり塾の取組については今年度で10年目となります。公募を行った結果、函館市及び近郊などから約20名が参加し、森林作業を中心とした全6回の講座を実施しました。

全6回のうち4回については昨年に引き続き渡島総合振興局東部森林室主催の「森への誘い講座」との連携企画として実施しました

また、このほか2回、「森への誘い講座」へ「森林づくり塾」の塾生が参加をしています。

## 第1回講座

第1回は、5月29日（日）、七飯町吉野山国有林において11名が参加し、カミネッコンによる植付作業を実施しました。カミネッコンによる植付けは、ほとんどの塾生が初めての体験でしたがすぐに上達して予定していた作業を無事終えることが出来ました。

当日は天候に恵まれ、爽やかな初夏の風を感じながら、皆さん心地よい汗を流しました。



## 第2回講座

第2回は、6月19日（日）、「森への誘い講座」との共同開催で33名が参加し七飯町カリマ国有林で下刈作業を実施しました。

当日は霧がたちこめ、駒ヶ岳や大沼を眺望することは出来ませんでしたが、作業をするにはちょうど良い気候で心地よい初夏の風の中、苗木を傷つけないように慎重に作業を行いました。



## 第3回講座

第3回は、7月10日（日）、「森への誘い講座」の受講生も含めて33名が参加して七飯町軍川国有林でトドマツの保育間伐作業（除伐Ⅱ類）を実施しました。

ほとんどの方が間伐は初めてで、緊張しごちない様子でしたが、伐倒、枝払い、玉切の一貫の作業を何度か行ううちに全員がすっかり馴れた手つきで作業を行っていました。



#### 第4回講座

第4回は、8月10日（水）、「森への誘い講座」との共同開催で38名が参加し新たに制定された「山の日」を記念して横津岳（七飯町）登山を実施しました。

トウゲブキ、エゾオヤマリンドウなど花を咲かせる数々の高山植物を間近に見、また駒ヶ岳、羊蹄山、函館山などの山々を眺望するなど、夏の登山を満喫することが出来ました。



#### 第5回講座

第5回は、9月3日（土）、「森への誘い講座」の受講生も含めて39名が参加して森町の材工場「株式会社ハルキ」と「函館港」の見学を実施しました。

製材工場では、地産地消の取り組みやプレカット部材や不燃材の一連の製造工程を、函館港では外国への輸出、国内各地への移出の現状をそれぞれ見学しました。



#### 第6回講座

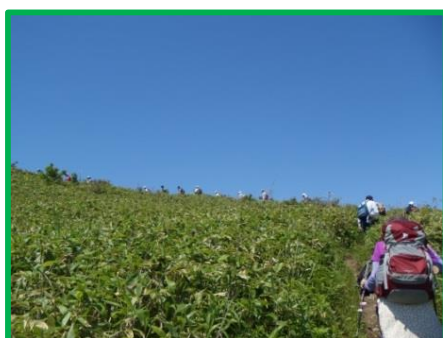
第6回は、10月2日（日）、函館市恵山国有林において北海道アウトドアガイドの自然観察指導員木村マサ子氏を講師に招き、18名が参加し植生観察会を実施しました。

当日は、天候にも恵まれ、噴火湾、津軽海峡、下北半島を望みながら、ガンコウラン、ウラジロタデ、コケモモなど、数多くの高山植物を観察し、全員無事登頂することが出来ました。



#### 「森への誘い講座」への参加

渡島総合振興局東部森林室主催の「森への誘い講座」に「森林づくり塾」の塾生が、参加をしました。



6月29日  
深緑の  
函館山散策

10月12日  
函館四季の杜公園  
きのご観察会



## ☆ 森林環境教育

### 🌲 北海道森づくりフェスタ2016植樹祭in北斗に参加

5月15日（日）北斗市きじひき高原において「北海道森づくりフェスタ2016植樹祭inほくと」が開催されました。

当ふれあいセンターでは、桧山・渡島森林管理署と共同で自然再生モデル事業の活動、森林環境教育の取組、道南の雄峰、森林で見られる花や動物の写真を「パネル展示」で紹介したほか、「木工体験」としてエコはし・万華鏡づくりの体験指導をおこないました



### 🌲 はこだて花と緑のフェスティバル2016に参加

6月11日（土）・12日（日）、函館市グリーンプラザ（松風町）で「はこだて花と緑のフェスティバル2016」が開催されました。

当ふれあいセンターでは自然再生モデル事業、森林環境教育の取組、花や動物の写真を「パネル展示」で紹介したほか、「木工体験」として中学生以下の生徒・児童を対象に巣箱づくりの体験指導をおこないました。



### 🌲 檜山森林管理署主催「グリーンスクール」に協力

9月15日（木）、江差北小学校を対象とした、檜山森林管理署主催「グリーンスクール」が砂坂海岸林で開催され、当ふれあいセンターは5・6年生を対象とした子ども樹木博士認定会を実施しました。

当日は、天候に恵まれ秋晴れの中、どの児童も海岸林の樹木の解説に真剣に聞き入り解説後の試験では、大部分の児童が8割以上の正解と非常にレベルの高い認定会となりました。



## 🌲 「道民森づくりネットワークの集い2016」に参加

9月22日（木）、札幌市、野幌森林公園で「道民森づくりネットワークの集い2016」が開催され、木のぼり体験、木のブランコ、カミネッコン苗づくり、木工教室、スタンプラリーなど多彩な催しが行われました。

当センターからは、今年度実施した「大沼地域自然再生等モデル事業」「森林環境教育」などの取組や、道南の秀峰、大沼周辺の動植物を紹介したパネル展示を行いました。



## 🌲 放課後児童クラブで森林教室を開催

12月3日（土）、函館市末広町の放課後児童クラブで森林教室を開催しました。

当日は小学1年生から5年生までの児童19名が参加し、葉っぱによる「樹木あてクイズ」と木の葉、小枝、輪切り版などを使った「クラフト作り」を行いました。

普段あまり体験することのない「クラフト作り」をととても気に入ったようで、楽しそうに一人で二つも三つも作る子も出てきて予定時間を大幅に拡大しての森林教室となりました。

今回は、屋内での開催となりましたが、木の葉、実、種、枝などに親しみ興味を持ってもらうことが出来、有意義な時間となりました。



## 🌲 渡島東部森林室主催「森への誘い講座」を支援

渡島総合振興局渡島東部森林室主催「森への誘い講座」への支援を、4月20日（水）開講式において国有林の概要についての講演、9月28日（水）七飯町（西大沼国有林）の樹木博士認定常設コースにおいて樹木博士認定会の開催によりそれぞれ行いました。

樹木博士認定会では、14名が参加し、皆さんとても熱心に取り組まれながら秋の西大沼の自然をそれぞれ堪能されたようです。



## 平成28年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
H28. 4.20	水	渡島東部森林室「森への誘い講座」への支援(渡島東部森林室で講演)
H28. 5.14	土	「北海道森づくりフェスタ2016植樹祭inほくと」に参画(北斗市)
H28. 5.15	日	「北海道森づくりフェスタ2016植樹祭inほくと」に参画(北斗市)
H28. 5.21	土	第1回吉野山森林植生観察会(吉野山国有林)
H28. 5.29	日	第1回森林づくり塾(吉野山国有林)
H28. 6. 5	日	第1回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H28. 6.11	土	はこだて花と緑のフェスティバル2016に参画(函館市)
H28. 6.12	日	はこだて花と緑のフェスティバル2016に参画(函館市)
H28. 6.18	土	大沼自然豊かな森づくり協議会の植付作業(吉野山国有林)
H28. 6.19	日	第2回森林づくり塾(カリマ国有林)
H28. 6.29	水	「森への誘い講座」への参加(函館山)
H28. 7. 3	日	第2回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H28. 7. 7	木	(~H28.7.28)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H28. 7.10	日	第3回森林づくり塾(軍川国有林)
H28. 7.27	水	(~H28.9.14)国際ワークキャンプ(吉野山国有林等)
H28. 8. 7	日	第3回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H28. 8.10	水	第4回森林づくり塾(横津岳)
H28. 9. 3	土	第5回森林づくり塾(森町等)
H28. 9. 4	日	第4回樹木博士認定会(茂辺地国有林)
H28. 9. 8	木	(~H28.9.29)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H28. 9.15	木	江差北小学校の森林教室「グリーンスクール」で樹木博士認定会(江差北小学校)
H28. 9.22	木	道民森づくりネットワークの集いで情報発信パネル展示(札幌市)
H28. 9.28	水	渡島東部森林室「森への誘い講座」への支援(西大沼国有林で樹木博士認定会開催)
H28.10. 2	日	第6回森林づくり塾(恵山国有林)
H28.10.12	水	「森への誘い講座」への参加(函館四季の杜公園)
H28.10.15	土	第2回吉野山森林植生観察会(吉野山国有林)
H28.11. 8	火	(~H28.11.9)ふれあいセンター等事業検討会(吉野山国有林ほか)
H28.12. 3	土	放課後児童クラブで森林教室開催(函館市)
H29. 2. 2	木	北の国・森林づくり技術交流発表会で国際ワークキャンプについて発表(札幌市) 大沼自然豊かな森づくり協議会を開催(南北海道大沼婦人会館)

# 主な活動実施区域



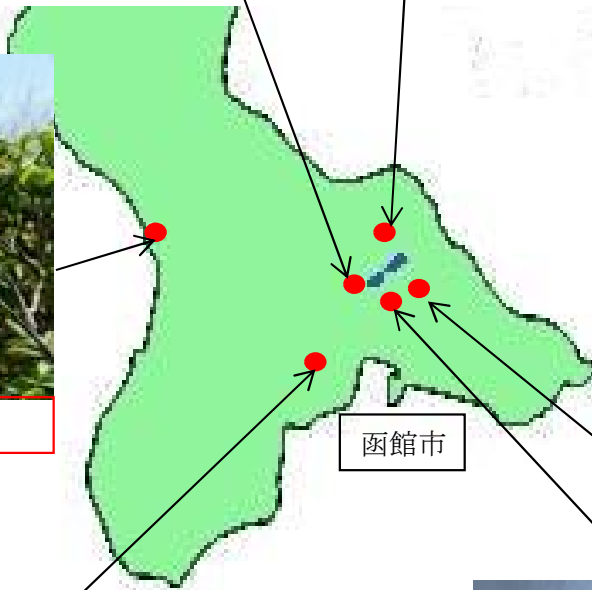
西大沼（にしおおぬま）国有林



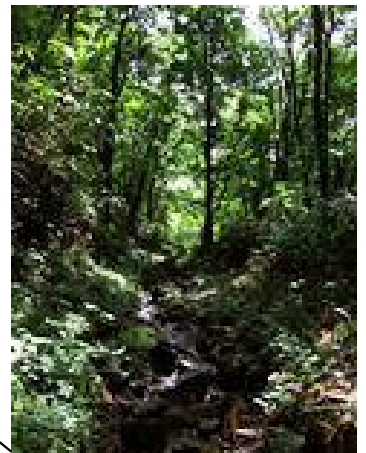
駒ヶ岳（こまがたけ）国有林



砂坂（すなさか）海岸林



函館市



カリマ国有林



茂辺地（もへじ）国有林



吉野山（よしのやま）国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局  
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13  
TEL 0138-51-0381  
FAX 0138-51-8178  
E-mail [h\\_koma\\_f@maff.go.jp](mailto:h_koma_f@maff.go.jp)